



かさまつの子

笠松町道徳教育連絡会議



岐阜工テクノボランティア

一、はじめに

岐阜工業高校では、学校で学んだ技術・技能を地域社会に奉仕の形で生かせないかと考えました。笠松町社会福祉協議会・民生委員・通所施設等の協力を得て、「岐阜工業高校がテクノボランティアをはじめます」と笠松社協広報紙にPR記事を掲載していただきました。これとは別に、特殊教育諸学校や幼稚園・保育園、小・中学校などの技術的な要望に応えられるようにネットワーキング作りを努めました。また、各学科の同好会および生徒の有志を中心に校内の組織を整備しました。

二、実践内容

(一)パイプハンガーの修理
社会福祉協議会から「老人が入浴される時に服を掛ける三台のパイプハンガーを修理して欲しい」との依頼がありました。パイプが折れ、溶接が必要でした。薄板のガス溶接は難しく、それでも生徒たちは何度も練習を重ね、修理(写真)しました。とても喜んでくれました。生徒たちも大変感動しました。
(二)地区のイベントに参加
数年前から自動車研究部を中心とした生徒たちがミニ新幹線の列車やミニSSLを運び、各地区のイベントなどへ参加しています。笠松町関係では、「リバーサイドカーニバル」(毎年十月)、笠松矯正展(毎年九月)などです。
(三)キャラクターマグネットのデザインと金型の製作

「展示即売バザー用に市販にはないオリジナルのクッキー型を作って欲しい」との依頼を受けました。まず市販の実物を見て研究しました。材料を決め、試作を重ねました。完成品を届けると、高い評価をしていただきました。生徒たちは「自分たちの勉強にもなるし、とても感謝され大感激です」との感想です。
(四)ボイスレコーダーの製作
岐阜希望ヶ丘養護学校の児童を支援しようと、自分で発声する声の持続時間をLED表示する訓練装置を製作しました。生徒たちは「子どもたちが楽しく訓練に使ってくれて、少しでも言葉を上手に発声することができるようになったらうれしいです」と言っています。

三、まとめ

生徒たちは、自分たちの学んでいる技術・技能が実際に社会で役立つことの素晴らしさに気がきました。また、地域の人たちとの交流から「共生」ということについて貴重な体験をしました。これからも「岐工テクノボランティア」を充実させていきたいと思えます。

障害者通所施設
ポップコーンから

岐阜工業高等学校

教頭 西川 治男



教育委員会だより

教育電話相談

「悩んだら気楽に
電話してください」
郡四町教育委員会
☎ 245・1133

教育委員会では、平成16年度の新入学予定児童を対象に、就学時健康診断を行います。
これは、新しく小学校に入学する児童が、楽しい学校生活を送ることができるように健康状態を調べるものです。
〔通知〕
8月1日現在の住民登録に基づき、新入学予定児童の保護者に就学予定の小学校から9月中に通知をします。
〔健康診断の内容〕
内科・歯科・眼科・耳鼻咽喉科の各検診と視力・聴力の各検査、知能検査をします。
また、今までの発育や検査の状況を把握するため、医師が母子手帳を見させていたいただくことがありますので、ご持参ください。
〔実施場所・日時〕
笠松小学校 9月29日(月)

小学校新入学予定児童の健康診断

〔相談の窓口〕
健康診断や就学について心配なことがある場合は、次のところへお気軽にご相談ください。
笠松小学校
☎ 388・0101
下羽栗小学校
☎ 387・3123
羽島郡四町教育委員会
学校教育課就学相談担当者
☎ 245・1133